

## 事例 F : 手指が不器用な低学年の児童

### ♥計画

指導仮説	授業における個に応じた手だて
A : 手指が不器用であるため、書くことに対して強い苦手意識があるので、書きやすい状況を作る支援が必要である。	A : 書きやすいようアドバイスしたり、補助をしたりする。

### ◆実施 (指導案)

- ・単元 かたちを うつして
- ・本時の目標 ・積み木の形を写し取り、面の形の特徴を利用して絵描き遊びをしながら、平面図形に親しむことができる。(算数への関心・意欲・態度)(数量や図形についての表現・処理)
- ・本時の展開

過程	指導内容	指導形態	主な学習活動	指導上の留意点 (個に応じた手だて)	教材・教具等	評価 評価方法
導入	めあての確認	一斉	1. 本時のめあてを知る。	・いろいろな積み木を見せて、学習への興味付けを図る。	各種積み木 見本の絵	
展開	形の違いをみつけさせる。	一斉	2. 積み木を見て平面にはどんな形があるか見付ける。	・まる・さんかく・しかくという言葉やそれぞれの形の違いをつかませる。	ワークシート	面を丁寧に写し取ることができる。 (表現・処理) ワークシート
	積み木の形を写させる。	個別	3. 選んだ積み木から平面を丁寧に写し取る。	・形の曲線や角に気をつけて、丁寧に写し取らせる。 積み木をそっと押さえるなど、書きやすいようアドバイスや手助けをする。 ・途中、友だちの作品を紹介する。 写し取る時には、緊張をほぐすようなことばをかける。 ・形の中に絵を描く、外にはみ出した絵を描く、どちらでもよいことを伝える。 ・どの形も1種類ずつはかくようにさせる。		
	絵かき遊びをさせる。	個別	4. 写し取った形を上手にを使って絵かき遊びをする。		パスティック ヒントカード	形を活かした絵を描こうとしている。 (関心・意欲・態度) 観察・ワークシート
まとめ	まとめ	一斉	5. 班ごとに絵を見せ合う。 6. 次時の予告	・班ごとに見せ合う。自分の作図した形を比べながら見させる。 ・それぞれの形の違いを確認させる。		

### ◆評価

A : 緊張をほぐすようなことばかけと、作業への補助等で写し取りができた。
---------------------------------------